



# 総合教育センターだより

## Be Connected

平成22年2月16日（火）  
第11号（通算第94号）  
京都府総合教育センター  
TEL 075-612-3266

# 小学校における外国語活動の推進

### センターの取組

小学校外国語活動の平成23年度全面実施に向け、指導力の向上と校内研修の充実が求められています。一方で、指導に対する不安の解消や校内研修へのサポート等の要望も寄せられています。そのためセンターでは、中核教員だけでなく、全ての教員が自信をもって指導にあたるよう、各教育局毎に、“**教育局別研修**”を実施しています。

“具体的な指導方法”や“モデルとなる授業スタイル”が学べるよう、「基本理念の理解」「実際の授業ビデオの視聴」「英語授業の模擬体験(所員の実演)」等を行っています。

また、小学校外国語活動の円滑な実施に向け、校内研修等にも活用できる実践的な教員研修用DVD「**ゼロからの英語ノート活用法**」を作製し、各校に配布をしています。



#### 外国語活動の目標

外国語を通じて、

- ①言語や文化について体験的に理解を深める
- ②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る
- ③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる

以上の三つの柱を踏まえた活動を統合的に体験することでコミュニケーション能力の素地をつくる。



#### DVD「ゼロからの英語ノート活用法」

文部科学省発行の「英語ノート」に対応し、チャンツやゲーム、アクティビティなどの活動について、“実演映像”と“解説”で構成しており、指導場面の具体的なイメージをもつことができます。

また、正しい発音を映像と音声で示しているため、英語運用能力の向上も図れます。



新学習指導要領	外国語活動の研修		学 校	センター		教 員
	年 度	文 科 省		教育局別研修		
改 訂	20年度	<b>中核教員研修</b> 文部科学省指定研修として平成20・21年度で各校2名受講	<b>校内研修</b> 中核教員研修を受講した教諭は、各学校において校長・教頭（副校長）の支援のもと、2年間で30時間程度（研究授業等を含む）の校内研修を運営	平成20年度約500人、平成21年度約1200人、平成22年度約1200人が受講		<b>自己研修</b> 英語運用能力の向上
先行実施	21年度		具体的には、 ①研修体制の確立（ビジョンと校内体制） ②研修内容の検討（学校の実態に合った内容） ③研修計画の作成（2年分の年間研修計画）	<b>【受講者の声】</b> ・実際の授業ビデオが、尻込みする自分を後押ししてくれました。 ・ゲームやチャンツが果たす役割を理解することができました。 ・実践への意欲が湧き、センター作製のDVDは早速自校で広めたい。		
全面実施	22年度			<b>初任者研修／教職経験2年目研修</b> 小学校外国語活動の指導方法の基礎を習得		
	23年度		外国語活動の年間授業時数が第5学年で35時間、第6学年で35時間			

# 初任者・新規採用者研修

いよいよ飛躍します！

今から、ここから

本年度、405名の初任者・新規採用者は、1年間の様々な研修を終了し、教育の専門家として新たなステージに立ちます。



平成21年度初任者・新規採用者の校外研修が2月4日の「教育実践」講座をもって修了しました。最終の「教育実践」講座では、各校種・職種の代表の8名が、1年間を振り返り、自らの実践や研修についての成果や課題、今後の教職員としての展望等を発表しました。発表者以外の先生たちも、その発表を聞き、これまでの自己の実践を振り返りました。これで校外研修は修了しますが、永い教員としての生活は始まったばかりです。自身のライフステージを見据えて、研究と修養を重ね、誰からも信頼される存在として活躍されることを期待しています。

さあ！「京都府の教師像」を胸に、子どもの中へ、保護者の中へ、そして地域の中へ！

## センター研修風景・感想など

自分だけが壁に当たっていると思っていたが、実践発表で、失敗談やそこから切り換えて前向きに頑張った話を聞き、励まされた。

更なる挑戦をしたい。



体験研修(京都伝統工芸大学校) [8月6日]



体験研修(桂高等学校) [8月6日]



コミュニケーション能力向上 [7月9日]

校種等を越えた教育実践を聞き、様々な教訓や指導方法を学ぶことができた。

「子どもにとっては、最初で最後の授業」という言葉に胸を打たれた。



体験研修(須知高等学校) [8月6日]



テーマ研修 [7月31日]



模擬授業 [1月14日]

テーマ研修では、全員が自分の課題やそれを克服するようなテーマをもって実践に臨んでいたのので、悩みを共有しながら、新たな展望を見出すことができた。



## 【求められる京都府の教師像】

- 児童生徒に対する教育的愛情と、教職に対する使命感・情熱を持っていること。
- 豊かな感性を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれていること。
- 高い「授業力」を持ち、児童生徒に確かな学力をつけることができること。
- 社会的良識と自ら学ぶ意欲を持ち、児童生徒や保護者、職場の同僚、地域の人から信頼されること。
- 「ふるさと京都」への理解と愛情を深めるとともに、国際的な視点に立った教育を推進することができること。『教師力』向上のための指針より(平成19年6月)

## ♡♡♡♡ センターからの一言 ♡♡♡♡

「今から」「ここから」と立ち上がった瞬間、ドラマは動き出す。

まず「今、ここ」を懸命に生きることはなかろうか。

